

# ❀ 神宮専用のお米を作る「神宮神田」 ❀

神嘗祭を始め神宮の諸祭儀にお供えする御料米の早苗を植える御田植式は、地元桶部町の「神宮神田御田植保存会」の奉仕により古式ゆかしく行われます。(1971年県指定無形文化財に指定)



男性は、手持金籠子(てもちかねかご)を下げ、下向き

女性は、白服、白帯、赤口(あかぐち)を付け

田楽(たがく)の稚子(わかご)の音(ね)にあわせて行われます

大土御祖神社(おほつちのみそじ)は、片宮(かたみや)の摂社(せつしや)です。

神宮神田での御田植初式が終了すると祭場は大土御祖神社の社頭へ移され、桶部御田植祭保存会の奉仕員による田舞(たまい)が演じられる。

## いろいろな御田植祭

5月5日(祝) 伊勢/猿田彦神社・御田祭  
三重県無形文化財に登録されている

6月24日(祝) 志摩市桶部/伊勢宮御田植祭  
日本三大御田植祭の一つとされ、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

## ❀ いせまめ ❀ プレゼントクイズ!

Q. 神宮神田は「〇〇町」にある。

住所・氏名・電話番号・クイズの答えを書いてハガキ・FAX・ウェブメールなどで応募ください。正解者の中から抽選でプレゼント!

- 米倉涼子クリアファイル 15名様
- 伊勢市・桶部(伊勢市桶部) 5名様

クイズの答:

住所

氏名

いせまめ通信の応募用アドレスへ送信をお願いします

しめきらせて  
いただいています。

## 神宮神田で生まれた新種「イセヒカリ」

神田にはいくつかの種の稲が育てられますが、中でも「イセヒカリ」という品種は、平成元年に神宮神田で発見された新種で、日本で昔からある硬質米の遺伝子を持っているのだそうです。

## ❀ こんにちは ❀ 高須新聞店で

いつもご愛読ありがとうございます  
お待たせいたしました!  
いせまめ通信のバックナンバーがWEBでご覧いただけるようになりました!  
現在、1号から3号までを公開しています。高須新聞店ホームページのトップからいせまめ通信バックナンバーのページにいます。この機会にぜひご覧ください!  
高須新聞店ホームページは  
[高須新聞店]と検索してください!  
クイズ応募用アドレス~  
quiz-cin@cin-takasu.jp  
住所・氏名・電話番号・クイズの答えご感想を入力して送信してください!  
次号は5月25日(日)発行予定。おたのしみに



「神宮神田」に来たよ

うわあー! すごくびっくり!

桶部町の「神宮神田」

たーくんの「いせまめ知識」  
「桶部町の神田って...?」

「神宮神田」は、もみだねを蒔く「神田下種祭」は四月月上旬に行われたわ。そして「神田御田植初」が五月一日に行われるの。

ここで神宮のお祭りでは、御料米が栽培されている。作付面積は約三ヘクタールあるのよ。

そういえば、田植えはいつなの?



「神田御田植初」は桶部町保存会の奉仕により古式ゆかしく行われるの。大団扇相撲や奉納踊りもあるのよ。

なんと! 県指定無形文化財に指定されているのよ!

えーそうなんだあ  
知らなかったあ

高須新聞店  
ホームページ  
QRコード

発行: 中日新聞  
伊勢市南部店  
高須新聞店①

〒516-0014  
伊勢市桶部町乙422-1  
☎ 0596-24-1720  
fax 0596-24-1728

毎月25日頃発行  
第22号  
平成26年4月27日